

# 高津区試合規定

2026 年 2 月 7 日

最新の公認野球規則および全日本軟式野球連盟の競技者必携、次の各号に定める高津区少年野球連盟の「試合規定(内規)」を適用する。

## (1) 試合時間およびイニング

- ① 「プレイ」宣告後、1 時間 30 分とし試合時間が経過した場合、そのイニングを最終回とする。
- ② 試合は 6 回戦とする。6 回終了時、または試合時間経過時同点の場合、特別延長戦を行う。決着がつかない場合、抽選で勝敗を決定する。
- ③ ダブルヘッダーの場合、当該試合終了 30 分後に 2 試合目開始を目安とする。ただし、両チームの監督同意のもと 1 試合目の終了後 30 分を待たずに 2 試合目を開始することもある。

## (2) 特別延長戦

タイブレーク方式とする。継続打順とし、前回の最終打者を 1 塁走者、その前の打者を 2 塁走者とする。無死 1、2 塁にて 1 イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。  
特別延長戦は最大 2 イニングとし、それでも勝敗が決しない場合は抽選を行う。

## (3) 得点差によるコールドゲーム

3 回以降 10 点差、4 回以降 7 点差（決勝戦のみ 4 回以降、7 点差とする）

## (4) 試合成立、再試合

悪天候等により続行不可能となったとき、5 回または 1 時間を終了している場合は、成立試合とする。

- ① 暗黒、降雨などで 6 回までイニングが進まなくとも 5 回を終了すれば試合成立する。
- ② 試合開始以降、1 時間 30 分経過後の均等回完了をもってゲームは終了する。
- ③ 上記①・②先に到達した方で試合を決するが、成立試合とならなかった場合、再試合とする。（継続試合ではない）

## (5) 特別グラウンドルール

- ① 審判員は特別グラウンドルールを試合開始前に両チームに周知し、これを適用することができる。
- ② ボールデッドはルールに則った方法で行う。天候の関係で外野やサイドにネットを設置しない場合、ボールデッドラインはネット設置場所を基準とする。

## (6) ベンチ

- ① 登録された同一意匠ユニフォーム着用の選手【主将 10 番】は計 25 名以内。
- ② 登録された選手と同意匠ユニフォーム着用の監督(30 番)・コーチ(29 番・28 番)は計 3 名。
- ③ 代表者・スコアラー・マネージャーはチーム帽着用のこと。ユニフォーム、半ズボン、サンダルなどの着用は禁止する。
- ④ 公認スポーツトレーナー資格者は別でベンチに入ることができる。

※許可された熱中症対策の保護者がベンチへ入る場合、原則チーム帽子、ビブスを着用すること。

※ベンチに入るものは、選手、スタッフ問わず必ずスポーツ保険等に加入していること。

- ⑤ ベンチ内へ通信機器(スマホ・タブレットなど)の持ち込み、使用を禁止する。(スマートフォンタイマー使用不可)
- ⑥ メガホンは1個に限り使用を認める。
- ⑦ 監督、または監督不在時の代理者以外がベンチラインを出ることは許されない。選手もプレイ中は原則ベンチラインを出ることは禁止する。※遵守できない場合、審判からベンチ退席を命じることもある。
- ⑧ ベンチスタッフ行動制限

スタッフ名	職責	服装		選手声掛け		試合中の行為			ヤジ	通信機器
		チーム帽	その他	グラウンド内	ベンチ内	タイム	申告	確認		
代表者	引率責任者	○	半ズボン、サンダル等 NG	×	○	×	×	×	×	×
監督	指導者	○	ユニフォーム：30 番	○	○	○	○	○	×	×
ヘッドコーチ	指導者	○	ユニフォーム：29 番	○	○	△	△	△	×	×
チーフコーチ	指導者	○	ユニフォーム：28 番	○	○	△	△	△	×	×
スコアラ	情報収集	○	半ズボン、サンダル等 NG	×	○	×	×	×	×	×
マネージャー	マネジメント	○	半ズボン、サンダル等 NG	×	○	×	×	×	×	×
トレーナー	健康管理	○	半ズボン、サンダル等 NG	×	○	×	×	×	×	×
給水係	熱中症対策 健康管理	○	ピブス着用 半ズボン、サンダル等 NG	×	○	×	×	×	×	×

○：可      ×：不可      △：監督不在時、代理 29(29 不在時は 28)として可

#### 【その他制限】

投手が投球関連動作に入ったら両チームベンチ・グラウンド上選手他、発声を控える。(プレイ上必要な場合は除く)

・攻撃時の応援歌

・攻撃チームベンチから守備チーム守備位置(走者牽制)などの声掛け

・応援席からの不要な声出し

#### (7) シートノック

5 分間とし後攻チームから行う。ノッカーは選手と同じユニフォームを着用した監督またはコーチとする。天候・運営上、シートノックをしないで試合を開始することもある。

※キャッチャーマスクをグラウンド地面に直接置かないこと(転倒などによる怪我防止)

※ノック球返球処理は原則ヘルメット着用の当該チーム選手が行い、止む無き事情により選手が行えない場合は、選手と同一のユニフォーム、ヘルメットを着用した監督またはコーチが行うこと。

#### (8) 攻守決定

攻守は前試合の 2 回終了時点で球審立ち合いのもと決定する。また、第 1 試合は開始予定 30 分前に攻守決定する。(指定された時間に来ないチームは、試合棄権とみなすものとする。)

監督(または代行者の権限を有する者)およびキャプテンは、ユニフォーム(背番号着用)で立ち合を行う。

メンバー表は試合会場到着後、速やかに本部へ提出すること。

※投球数管理の関係上、4 年生以下が識別できるよう背番号を○で囲い、記載するようにしてください。

※2026 年度より 1 週間の投球数 210 球以内(4 年生以下 180 球以内)の規制に伴い、投球数確認のため、スコアラ立会いで攻守を行うことがあります。

### ( 9 ) ブルペン(試合前、試合中)

次の試合の先発バッテリーは攻守決定後、グラウンド内ブルペンで投球練習をすることができる。ただし、監督をはじめ大人が立ち合うことは原則認めない。

試合中ブルペンで投球練習できるのは現在の投手か、次回以降登板が予定されている投手のみである。

※キャッチャーマスクなどをグラウンド内に置いてはならない。座って投球練習を行う場合は、必ずマスクをかぶること。

### ( 1 0 ) 用具・装具・服装

- ① 大会試合球は本部で用意し、リーグ戦は各チーム 2 球ずつ用意する。
- ② バットは、2024 年市学童バット使用規定に準ずること。
- ③ 捕手は連盟公認(JSBB)のマスク・レガース・プロテクター・ヘルメットを使用すること。危険防止のためファウルカップを着用のこと。(投球練習中も着用のこと) ※捕手マスク、ヘルメットは「SG」マークが付与されたものを使用すること。
- ④ 打者、走者およびランナーコーチ、ボール係は「SG」マーク付与されたヘルメット着用のこと。
- ⑤ 打者、走者、野手のリストバンド着用を原則禁止とする。
- ⑥ テーピングなどの申請は、当該選手を同行させ攻守決定時に審判へ申告すること。
- ⑦ 投手は怪我等を問わずリストバンド等の着用は禁止。
- ⑧ 金属製スパイクは使用禁止。
- ⑨ ユニフォームおよびアンダーソックスなどの意匠はチーム内統一すること。
- ⑩ 幅裾の広い、ストレートタイプのユニフォームは、使用を禁止する。
- ⑪ 左袖に日本語、ローマ字による県名を必ず入れること。県に関連するものであれば、つけることができる。

サングラス着用許可は、以下通りである。

投手：通常着用 ○(ミラーサングラスは着用不可)      野手：通常着用 ○

※投手のみミラーサングラスは禁止とし通常のサングラスも華美なものは原則避けること。投球、打球、飛球、衝突や転倒による事故、怪我、破損に関して当連盟は一切の責任は負わないものとする。

### ( 1 1 ) その他

- ① 試合中、監督が審判員へ異議を申し立てることは禁止するが、ルール上の説明を求めることは認める。監督不在は、それに準ずる者が行うものとする。
- ② 変化球は禁止する。  
→変化球はボールを宣告し、注意を与える。それでも続く場合は、投手を代えるよう審判員から通達する。それに対して、異議、不服申し立てをすることはできない。
- ③ 打者走者の 1 塁ヘッドスライディングは怪我防止の為、原則禁止する。
- ④ グローブの指だしについては安全を考慮し、原則認めない。
- ⑤ 移動型ベースが移動した場合は、ベースのあった地点にいればベースに触れているものとみなす。

## 注 意 事 項

### (1) ボール処理

ファウルボールは、1 塁側は 1 塁側ベンチ、3 塁側は 3 塁側ベンチ、バックネットは攻撃側で処理する。(後方のボールは取り合いにならないよう注意を促す。)

攻守交代時は、ボールを投手板近くに置いて交代する。ただし、天候不順の場合は審判員に渡す。

審判員へボールを渡しに行くときは、原則ボールデッド中とする。(安全を考慮し、インプレー中は原則禁止とします。)

### (2) 試合進行

- ① 投手の準備投球は、初回投球を 5 球以内とし、次回から 3 球までとする。交代した投手も同様である。

※投手交代の準備投球時、内外野のボール回しを認める。

- ② プレイ中の野手間ボール回しを禁止する。

- ③ 打者は速やかに打席に入り、打撃姿勢をとること。打席を外してサインを見ることを禁止する。

- ④ 投球を受けた捕手は、その場から速やかに送球すること。

- ⑤ 次打者、ランナーコーチは円陣に入らないこと。

※ランナーコーチの入替は原則ボールデッド中、もしくは攻守交代時のみとする。(安全を考慮し、インプレー中は原則禁止とします。)

- ⑥ 無用と思われるけん制を行わないこと。(場合によっては、遅延行為としてボークとなる)

### (3) タイム

- ① 守備側タイムは 3 回までとする。(タイブレークの場合、1 イニングで 1 回)

- ② 攻撃側タイムは 3 回までとする。(タイブレークの場合、1 イニングで 1 回)

- ③ 監督タイムは 3 回までとする。(タイブレークの場合、1 イニングで 1 回)

### (4) その他の注意事項

- ① 試合会場は開始と同時に封鎖し、関係者以外の入場、無用の出入を禁止する。

- ② 球場周辺・道路等では、バット・ボールを使う練習をしてはならない。

- ③ 青少年育成上、監督、コーチ、スタッフ、ベンチ外問わず暴言は禁止する。それらの行為が見られた場合は、即刻、退場を申し渡すものとする。

- ④ アップグラウンドの使用に関しては、次の試合チームを優先とする。

- ⑤ 試合後のグラウンド整備は、試合をしていたチームが率先して行う。

- ⑥ 登録用紙の守備位置記載欄は、投・捕・一・二・三・遊・左・中・右とし、それ以外は内・外とする。

- ⑦ ネクストバッターは、スタンディングの姿勢で待つこと。ただし、投球タイミングをとることを禁止する。

- ⑧ 投手の投球制限は 1 日 70 球以内とする。70 球目を投じた打者が打撃を完了するか、又は打撃完了時まで投球できる。※4 年生以下の投球制限は 60 球以内とする。